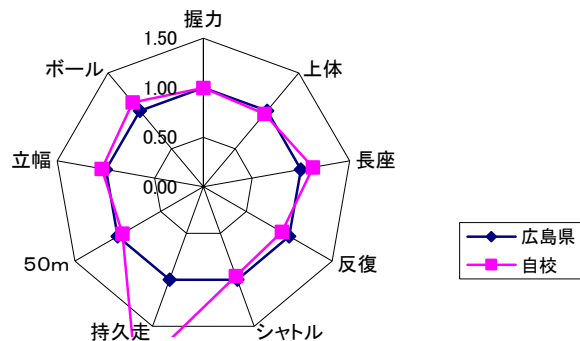


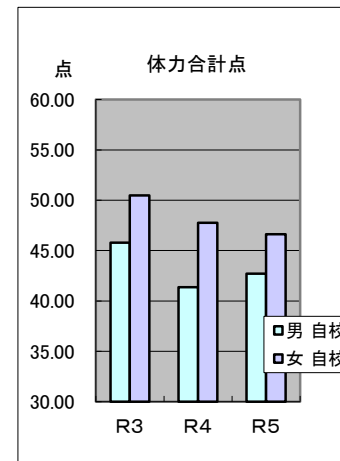
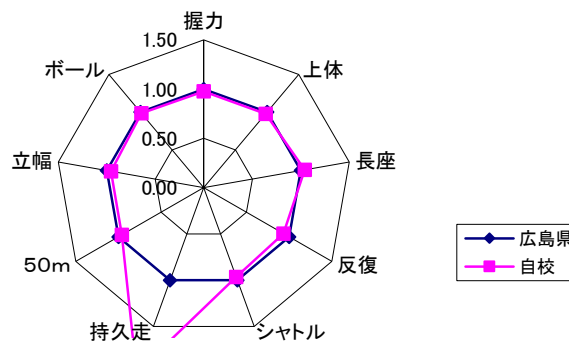
男子の体力合計点 学校 42.71 点 県平均 42.28点

女子の体力合計点 学校 46.64 点 県平均 48.60

体力・運動能力調査比較(中2男子)



体力・運動能力調査比較(中2女子)



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
 - ・県平均と比較し、2年生は男子は、0.05p、女子は0.04p下回っている。
 - ・全体として、「走る」ことへのモチベーションが低い生徒が多く見受けられた。
 - ・「全力で取り組む」意識が薄い。
- ②ハンドボール投げ(中学校区の課題種目)
 - ・県平均と比較し、男子は、0.11p上回り、女子は0.01p下回っている。
 - ・女子については、基本的な投動作の知識・技能の習得ができていない。
- ③上体おこし(自校の課題種目)
 - ・県平均と比較し、男子は、0.04p、女子は0.02p下回っている。
 - ・計測では、30秒間の計測に耐えられず、途中から失速していく生徒が多い。
 - ・継続する力をつけられるよう、情意面のサポートを重視した指導が必要。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ○走ることが楽しいと思える授業を実施 例えば、短距離走種目ではハードル走などの授業を充実させる。ハードル走は技能ポイントがとても多い種目であるため、ハードリングの技能ポイントを意識させることで効率の良い走りの習得につなげていき、生徒の達成感につながる授業を行っていく。
具体的な数値目標 (男子7.7秒、女子8.6秒)	
②中学校区の課題種目 (ハンドボール投げ)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ○投動作についての指導 様々な球技や、呉チャレンジマッチの「シャトルリレー」を実施する中で、ボールを投げる動作における、助走と投げる角度について重点的に指導していく。 ○昼休憩の時間の取組 ボールの貸し出しを継続して行うことで、ボールを投げる機会をつくるとともに、スポーツに親しむ経験ができるようにする。
具体的な数値目標 (男子24m、女子14m)	
③自校の課題種目 (上体起こし)	具体的な取組内容 ○モチベーションの向上を図る 普通の授業や学校生活で、何事においてもしんどい場面での「ひと頑張り」ができるよう、情意面のサポートを重視した指導を行う。また、授業で行う様々な種目において、体の使い方のコツを考えさせる活動を取り入れ、運動が苦手な生徒が積極的に取り組めるよう、支援をしていく。
具体的な数値目標 (男子28回、女子23回)	

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)